

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年八月度 入選句（投稿総数二千九百二十八句・一般投句数六百五句）

選者 大橋 庄一郎

特選

風涼し曲輪の水の豊かなり

愛知県岡崎市

鈴木 明美

曲輪（くるわ）は城の内外を土塁、石垣、堀などで区画した区域の名称であり、江戸時代になつて郭の字をあてるようになった。郭町の町名の由来でも有る、大垣城の内堀でも有つた水門川の豊かな水の流れと豊富な自噴水をよまれたよい句で下の句がよいと思います。

篝火に映ゆる河畔の薪能

安八郡神戸町

早津 郁男

あの篝火に映える幻想的で素晴らしい、謡曲と能の薪能は県内では長良川薪能、大垣市内では墨俣でよく観られる。薪能を観劇しますと、夜間で気の散らない事も有り、その芸域に飲み込まれ、暑さも時の過ぎるのも忘れる程の文芸です。機会があれば観られる事をお勧めします。その薪能の良さをよく現はされたよい句です。

七十年平和のつづく葉月くる

大垣市

秋山 くに子

終戦の昭和二十年八月十五日より七十一年、終戦交渉代表の紳士国アメリカが良く、国体を維持出来、天皇制を残した等、当時としては最善の条件での終戦、国民性の良さ、世界の他国の争いを見ると、平和な日本の有難さが身に染みる。どうか国を守つて平和が続く事をお祈りしたい。心落ちつくいい句で終戦月八月の葉月がよいと思います。

秀逸

文月や女知事なる初名乗り

大垣市

川瀬 喜梅古

緑陰に水音絶えぬ城下町

大垣市

臼井 秀子

絵の具には無き色茄子の艶の彩

養老郡養老町

田中 紫香

鬼気迫る入道雲の仁王立ち

大垣市

二村 光生

梅雨空や診察券の厚さ増し

大垣市

吉田 てるみ

紫陽花や主居ぬ庭に凜と咲き

大垣市

北村 陽子

法螺貝の音こだまする山開き

大垣市

松永 勝二

夕立に軒がないかと廻り見る

大垣市

日々 是頓

梅花藻の涼しい流れこころ澄み

滋賀県甲賀市

甲賀 忍者

大役を終へ大の字の大昼寝

愛知県岡崎市

鈴木 正紘

入選

バス停の小さき片蔭譲りあふ
谷水に手を浸しをり夏惜しむ
走り根につまづきさうな大緑陰
軽トラの窓から足を三尺寝
路地トマト早起き負けて鳥食し
笑み溢れ夏の地を駆け児童たち
焼鮎のスパツと骨抜け丸かぶり
蟬時雨親子で巡るむすびの地
老妻の小言正論梅雨晴間
万歩計気になる歩数炎暑なか

大垣市 末守 節子
安八郡輪之内町 野村 照子
大垣市 野村 多佳子
大垣市 森川 きよ子
京都府宇治市 上野 忠夫
北海道札幌市 元山 忠弘
大垣市 佐竹 余史美
愛知県岡崎市 成田 てる子
愛知県名古屋古屋市 加島 故雪
不破郡垂井町 高木 紫雲

入選

正眼の筋骨隆々土用稽古
晩成を今なほ信じ夏期講座
雨止んでたちまち降り蝉時雨
会いてより膨らむ話白日傘
惜しげなく素足並べた足湯かな
密教の護摩供の炎夏旺ん
新緑はひと雨事に深くなり
夕焼や入念に研ぐ明日の鎌
ふるさとは遠くなりけり盆の月
かけ合ひのいなせなるかや朝顔市

不破郡垂井町 富田 実郎
大垣市 棚橋 みさを
愛知県岡崎市 大岡 世津子
福井県福井市 三ツ山 ひろし
不破郡垂井町 田中 不二夫
不破郡垂井町 江崎 真一
海津市 水谷 勲一
安八郡神戸町 高橋 泰
安八郡神戸町 高橋 日出美
愛知県豊田市 城山 憲三

選者吟

座つても立つても居場所無き残暑

庄 一 郎